

# 三十一文字でつむぐ新しい世界

## 第20回 与謝野晶子 短歌文学賞

堺出身の「情熱の歌人」与謝野晶子を顕彰する公募短歌大会「第20回与謝野晶子短歌文学賞」(産経新聞社主催、E.H株式会社特別協賛)の選考が行われ、最優秀の文部科学大臣賞に、一般部門は奈良市の山上秋恵さん(38)、中高生部門「青春の短歌」は金蘭千里高校(大阪府吹田市)の2年、谷口真結香さん(16)の作品がそれぞれ選ばれた。表彰式は7月12日、堺市堺区の江久庵で行われる。



与謝野晶子出典・文化学院

与謝野晶子短歌文学賞 晶子の生地、堺市の市民団体によって創設され、平成7年に第1回を開催。第9回から産経新聞社が運営を引き継いだ。現代歌壇でも指折りの歌人を選者に迎え、ハイレベルの公募短歌大会として親しまれている。高らかな青春賛歌で知られる晶子にちなみ、中高生対象の「青春の短歌」部門に力を入れているのも特徴。

### 一般部門・入賞作品

- ▼文部科学大臣賞 奈良市、山上秋恵さん  
キュロットをはいていた夏 恋をするようににはできていなかった胸
- ▼産経新聞社賞 堺市西区、平間美幸さん  
子らの漕ぎぶらんこのおの揺れながら時折横に並ぶことあり
- ▼選者賞 藤原道と和歌山県橋本市、浦木逸子さん  
コンビニは夜の海中水族館若者よりと下アに呑まれる
- ▼選者賞 伊藤一彦 大阪市東淀川区、鈴木晴香さん  
駆け引きも億劫になる花さかりをわねるままの恋をして
- ▼選者賞 今野寿美 福岡県新宮町、岸原修さん  
後悔はしなかったことありまして出来なかつた事ではありませぬ
- ▼大阪府知事賞 宮崎市、本田皓子さん  
やわらかき靴とあざき靴とが混じる災害支援の現場
- ▼京都府知事賞 愛知県稲沢市、柴田通子さん  
もうすこし心開けばよかったと今朝横む雪の白さに思う
- ▼堺市長賞 兵庫県西宮市、桜田一夫さん  
とかとかとハイヒールの首ついで来る妻の小言の続きのように
- ▼E.H賞 大阪府岬町、岡野はるみさん  
ひろくまで美しい夢みていたか日傘が売り場を目を覚ます夏
- ▼三輪山まほろば短歌賞 姉妹賞 奈良県天理市、川北昭代さん  
トローチの穴に舌先あそばせて胸の疼きを思いまいる
- ▼角川全国短歌大賞 姉妹賞 香川県善通寺市、子川多栄子さん  
三人の孫よりちひさくなる頃にまいる眼鏡の似合が気がする
- ▼河野裕子短歌賞 姉妹賞 徳島県阿南市、小畑定弘さん  
ケータイも心も電源オフにして杉の枝打つ音響かせて
- ▼「山登美子記念短歌大会」姉妹賞 川崎市中区、大平真理子さん  
野球帽の裏に(男)と書きしは最後の夏の代打に立てり
- ▼「城崎短歌コンクール」姉妹賞 静岡県駿河区、高橋香子さん  
図書館の「明星」二号に曾祖母の和歌をみつめて指でなぞりぬ
- ▼関西テレビ放送賞 大阪府吹田市、前田文乃さん  
接吻やキスははなれてキスと言う父との恋を語りける母
- ▼ラジオ大阪賞 和歌山県橋本市、赤坂文代さん  
イベントの一つのような明るさに子ら語りける私の葬儀を

### 一般部門に2762首

### 青春の短歌1万8271首

### 青春の短歌・入賞作品

- ▼文部科学大臣賞 大阪・金蘭千里高、谷口真結香さん  
並べたおはじき君が混ざっていくこの方がなんか落ち着く
- ▼青春の短歌賞 高校生の部 愛媛県立三島高、大西恵奈さん  
雪つて意中の人に多く投げその反応を見て私
- ▼青春の短歌賞 中学生の部 東京・学習院女子中等科、永田瑞恵さん  
女子校のちりとりの中はとんとは長髪ハバラ艶やかな髪
- ▼大阪府知事賞 埼玉県入間市立東金中、町田優季さん  
友達とゆとり歩く帰り道バイバイした後早くなる足
- ▼京都府知事賞 兵庫・クラーク記念国際高等学校キャンパス、片真和さん  
冬の夜寒さで凍り寒開かずお金払えぬ精算機前
- ▼E.H賞 京都教育大学附属山中、櫻亮さん  
暖房がききすぎているテスト中近く窓に右頬つける
- ▼堺市長賞 大阪府立鶴見商業高、井戸幸代さん  
あんなとこさうさうさうの友達だから私はほほほを向ける
- ▼与謝野晶子倶楽部賞 神戸市立六甲アイランド高、岡田まゆみさん  
炎天下下歩けば騒がしい流れる汗がひとと静か
- ▼菊池寛記念賞 鹿児島市立谷山中、高田麻美さん  
この季節こたつで眠る父と母とに私もゆつり入る
- ▼日本ユネスコ協会連盟賞 東京・学習院女子中等科、平原紀希さん  
外見は手に紙持つ女の子相手はどこのどのどか
- ▼与謝野町長賞 京都教育大学附属山中、澤井栄華さん  
3限の社会の時間腹が減る気が紛らわすといふ描いて
- ▼奥出雲町長賞 広島県立海田高、柴崎大輝さん  
テスト返し赤のインクが大暴れクラスの窓には結露が見えた
- ▼奥出雲町商工会長賞 福井県立武生高、堀井一志さん  
あの子から借りた消しこむ返せずにまたに使うの消しこむ
- ▼三國路・与謝野晶子短歌文学賞 群馬県立高崎北高、河田玲央奈さん  
少しだけ待つ人のことを考えて妻簪手をかき直した
- ▼与謝野晶子賞 東京・学習院女子中等科、向井山綾乃さん  
新しい筆箱一つと目立ちますそんな日常友と過して

### 7月12日 堺で表彰式

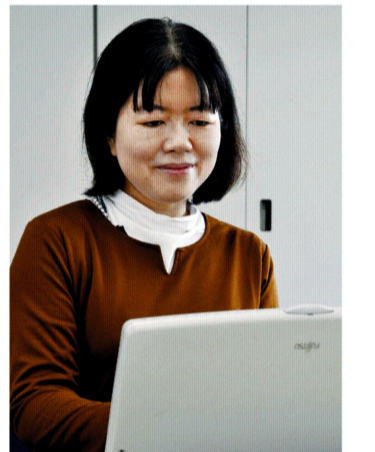
7月12日に堺市堺区の江久庵で開かれる与謝野晶子短歌文学賞の表彰式では、選者の篠弘、伊藤一彦、今野寿美、穂村弘の4氏による選評を聞くことができる。馬場あき子、

篠、永田和宏の3氏による特別鼎談「近代から現代へ—歌の青春性」や、翌13日には歌会も予定されている。参加には事前申し込みが必要。プログラムの詳細等は、産経新聞開発(☎06・6633・6865)へ請求。参加申し込みは30日締め切り。

<企画・制作>産経新聞社事業局

### キュロットをはいていた夏 恋をするようににはできていなかった胸

一般部門 文部科学大臣賞  
山上秋恵さん(38)  
奈良市



13年間で短歌2千首。一般部門の文部科学大臣賞に決まった山上秋恵さんは、新聞への投稿を中心に作歌を重ねてきた。与謝野晶子短歌文学賞も常連投稿者で入選もたびたび経験したが、入賞は初めて。「何かの間違いかと」と顔をほころぼせた。

高校時代は童話作家を志望。幾度かコンクールにも出品したが、1次審査通過どまりだったという。20歳代にな

### 並べてたおはじき君が混ざっていくこの方がなんか落ち着く

青春の短歌 文部科学大臣賞  
谷口真結香さん(16)  
大阪・金蘭千里高



中高生部門「青春の短歌」は、普段の国語の授業などでは分らない「才能」の発掘も大きなテーマ。文部科学大臣賞の谷口真結香さんは「絵画や演劇はよく鑑賞するけど、短歌はあまり読まない。文芸で表彰されるのは初めて」と喜んだ。

受賞作は、学校で与えられた「混ぜる」とのお題から発想した。混ぜるといふ言葉に、学校生活で友人から見られる新しい価値観や、友の影響を受けて変わっていく自分を重ねた。

「君」は特定の誰か一人ではなく、大切な友人たちのイメージを抽象的に重ね合わせた。この春、新設された写真部に入った。さびけない街並みなどの風景を撮りたいという。カメラを通して、また新しい世界を見つけていくのだらう。

最優秀校に選ばれた2校は、それぞれの取り組みで生徒の可能性をのびしている。学習院女子中等科では、短歌や俳句を年に4、5回行わせ、クラス内コンクールを実施している。お互いに投票して秀歌を選び、感想も書き合うことで、競争心が刺激される。福井県立武生高校は、歌人、俵万智が高校時代に住んでいた旧・武生市(現・越前市)にあり、短歌に触れる機会が比較的多いという。指導した川法央教諭は「国語が得意ではない生徒が入賞するなど、受験国語では評価できない部分を見ることができた」と話していた。

いいもの真っすぐ  
ExcelHuman  
EH株式会社  
www.EH.com

## 堺の地が育んだ文化を、次の未来へ。

古くから「もののはじまり、何でも堺」と言われ、文化の発信地であった堺の街。1964年、この地に創業の産声を上げた私たちEHは、こうした伝統にならってよいものを見極める力を高めると同時に、堺に残る文化を守ることも使命としてきました。堺にゆかりの深い与謝野晶子短歌文学賞への特別協賛も、こうした活動の一環です。これからも堺の街とともに、より美しい未来をめざして——。本日、EHはおかげさまで50周年を迎えることができました。



大徳寺塔頭 聚光院 国宝障壁画「方丈襖絵」リブレイスプロジェクト



「利休大坂三畳台目茶室」復元プロジェクト

EH株式会社は、与謝野晶子短歌文学賞に特別協賛しています。